



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー

RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳

副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1095回 例会
2012.6.22

司会:久保栄子君 指揮:土屋巧君

ロータリーソング「それこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



本日は、山田定男君の職業紹介をさせていただきます。山田君は、サント・サーフェイス(株)の代表取締役でフライパンのテフロン加工・プリンター・自動車のミッション等の表面処理・機能塗装の仕事

をしております。

この仕事に入ったきっかけは、学生の時からお味噌とかお醤油とか科学的な実験に興味があり、又父親がオートバイの製造会社の美塗装の仕事をやっていたが、子供の時二度倒産し家庭ではいつも夫婦けんかがたえなかった。そんな事がいやになり高校三年の時新宿でホストになろうと考え家出したが、母親に連れ戻され父の会社を手伝う様になりこの仕事に入ったと言っていました。当時、友人達の給料が三万円位であったが自分は二万円の給料しか貰えずくやしくて人の1、5倍仕事をしてやろう、そして人並み以上の給料を貰おうとがんばった。しかし1、5倍仕事をして親会社へ製品を、納めたところ親会社から単価を下げられ悔しい思いをした。その時いくらがんばっても皆と同じ事やっていたはダメだと思った。そして30歳の時静岡県では一社日本でも5社位しかやっていないテフロン加工表面処理の仕事出来るようになり今の会社の基礎が出来た。

44年間この仕事やってきました。最初の頃はもちろん大変だったが自分達会社が、夜遅くまで仕事一つ1円か2円位しか儲からない製品を中間の業者がなにもせずマージンを1個10円も取っているのが判った時はがっかりした。しかし、自社開発したセラミック塗装の製品を30円で見積もり親会社の資材部長に持っていったところ45円の単価で見積もりしなさいと言われた。何故単価を上げてくれるのかと聞いた所、うちも利益があるからおたくも利益をあげなさいという言葉に驚き感激した。

そして人の付き合いも1年2年はうまく付き合う事が出来るが10年付き合うと本物の関係が出来ると思う。そしていつも感謝の気持ちを込めてありがとうを1日50回言う事にしている10万回言うのに6年かかるが自分はもう20万回位言っていると書いておりました。自分もあと何年仕事出来るか判らないが、早く会社を任せられる従業員を、育てるか外部から任せられる人材をつれてきて、のんびりやっていきたいと書いておりました。

定男ちゃんと話して感じた事は、若い時に苦労した経験が、人に対する感謝の気持ちが生まれること、そして周りの人を明るく楽しくさせているんだと思いました。定男ちゃんには1年間幹事をさせていただき、R・Cの仕事又会員の皆様の職場訪問を一緒にやってきました。本当に感謝しております。同じトラ年ですが定男ちゃんの体力には敬服いたします。丈夫なからだに産んでくれた親に感謝すると言っておりましたが、車の中で寝ない様に、ほどほどで家に帰り、体を労わってください。これからも永いお付き合いをおねがいします。ありがとうございました。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

千葉慎二君(三島西RC)

土屋雄三君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	29/34	85.29%	30/34	88.24%
今回	21/35	60.00%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(和)君、大房君、加藤君、小島君、小林君、杉山(順)君、杉山(隆)君、鈴木君、西原君、服部君、宮沢君、矢岸君、山口(雅)君、山本(章)君

おめでとう

入会記念日

6月22日 太田政人君
6月22日 澤田 稔君
6月22日 中村 徹君

クラブ協議会

クラブ管理委員会 委員長 太田政人君

クラブ管理委員会を構成していました会場監督委員会、プログラム委員会、親睦活動委員会、出席委員会の各小委員会の皆様お疲れ様でした、おかげ様で当初心掛けた円滑な例会運営が行われ楽しく有意義で充実した1年であったと思います。詳細は各小委員会が発表いたします。

来年度からは組織改編のためクラブ管理委員会はクラブ奉仕委員会に戻ります、大きな組織となりますが次期委員長山本良一さん宜しくお願いします。

SAA委員会 委員長 山本 章君

3年間、会長・幹事をはじめ会員皆様のご協力ありがとうございました。年間目標は楽しい例会をと言うことでスタートしましたが、いかがでしたでしょうか。一年間家族例会や4クラブ合同例会など通常例会とは違った事もかなり緊張した事を覚えています。おかげさまで無難に一年間過ぎました。有難う御座いました。一つ心残りなのはロータリーソングの指揮が3年間やったけどうまくならなかった事です。次は久保さんを中心に頑張ってくださいので期待しています。またできるだけの協力をします。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

プログラム委員会 委員長 米山晴敏君

プログラム委員会は渡邊会長、山田幹事の指示通りに活動出来たと思っています。

特別行事・地区行事・親睦行事はほぼプログラム通りに行われました。特に親睦行事は親睦委員会の皆様のご努力で充実したものとなりました。

卓話は会員自身の考え方、仕事の事などを表現して頂きました。

反省すべき点は1週前に次回卓話の連絡を怠った事です。申し訳ありませんでした。

東北震災復興委員会には空き時間を有意義に利用して頂きありがとうございました。

親睦活動委員会

委員長 中山和雄君

今年度の親睦活動委員会では年度始めに掲げた目標に向かって、年7回の親睦委員会担当の例会、7月の親睦例会(服部君)、8月の夏の家族会(岡君)、12月のクリスマス家族会(小林君)、1月の四クラブ合同新年会(米山君)、3月の春の家族会(内田君)、5月の親睦例会では年間予算の調整で年間行事、各担当委員の報告会を行い(中山)、最後の6月のさよなら例会で報告していただいたようにしっかり目標が達成できたと思います。

各担当委員及び補佐役の各親睦委員また参加いただきました会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

ロータリー外広報委員会 委員長 兼子悦三君

- ① 年度頭書、新年度の役員構成を静岡新聞及び伊豆日々新聞に提供し掲載していただいた
- ② *東日本大震災復興委員会の活動の一環として「忘れないでください東日本大震災」のシールを作成し、三島市民に街頭で手渡し運動を行った。

職業奉仕委員会 委員長 望月保延君

今年度の渡邊会長が会長挨拶として毎例会ごと 会員御一人一人の会社を紹介して来ました。会員の人がなりが違ふ角度から垣間見られる挨拶になった様に思われます。そこで我が職業奉仕委員会としては その原稿をCDに落とし会員全員に会員の会社概要を何時でも読める様に皆様方に渡す。これを我が委員会ですとまとめます。

東日本大震災復興委員会 委員長 兼子悦三君

渡邊年度に表記の委員会が結成され、委員10名を以て組織されています。本年度は東北大震災の災害を後世まで忘れないでとの事で

- ① 震災を忘れないでとのシールを3000枚作成し、三島市民等に配布致しました。
- ② *被災地との打ち合わせに岩手県大槌ロータリークラブと打ち合わせを行う(11名参加)
- ③ *子供達の為に図書への贈呈を行うということで第1回の図書(中古)を集めて大槌町学校教育委員会に贈呈した
- ④ *平成24年7月1日以降予算取りを行っている60万円を大槌ロータリークラブに手渡す準備を行っていると同時に来期太田年度で地区補助金申請を行った。

卓話

ロータリー検定

太田政人君

いよいよ、会長就任も近づき、緊張の日々を過ごしております。数々の文書、資料などに目を通しモチベーションを高めていますが、至らぬことも多く出てくるとは思いますがその際には皆様宜しく願いいたします。

さて現在、検定ブームで英語検定や漢字検定、富士山検定延いては映画検定、日本ビール検定、三国志検定など数多くあります。ロータリーにも検定があり、先程の地区協議会の会長幹事部会で「ロータリー検定 初級編」を受けさせられましたので皆様にも受けて頂きます。ロータリーに対してのモチベーションもあがると思います。

以下○か×で答えてください。

- ① 1905年にシカゴで結成された「ロータリークラブ」は初期のころ、親睦と事業のネットワークづくりに重点をおいていた。
- ② 2012-13年の地区大会は2012年11月17～18日に山梨県甲府で開催される。
- ③ クラブや地区の会員増強・維持委員会の使命は、社会や地域社会の変化に応じた職業分類見直しを行い、また、クラブ会員の世代構成バランスを維持し、クラブ財政や奉仕活動の推進を図ることによってロータリーの目的(綱領)の実現を目指すクラブの基盤強化(会員の維持・増強)を図ることにある。
- ④ RID 2620の広報・IT推進委員会「分区支援小委員会」は分区内各クラブの活動状況を出来るだけ多くの地区内ロータリアンに知らせ共有すること、ガバナー補佐が分区内クラブの連携を図りやすくするための支援を行うこと、を目的に新設された。
- ⑤ 「四つのテスト」は道徳的指標である。1954-55RI会長ハーバートJ.テラーが提唱したもので、事業生活、職業生活において特に活用することがふさわしいものである。
- ⑥ ロータリークラブによる世界初の社会奉仕事業は、シカゴ市内に2カ所「公衆便所」を設置したことである。
- ⑦ 新世代奉仕とは、年齢330歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることにより、新世代に将来の準備をさせる支援活動をいう。
- ⑧ 2月23日は最初のロータリークラブ会合が開かれた記念日であり、世界理解と平和の日として順守されている。各クラブは、この日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調されなければならない。
- ⑨ ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、神前、平和を達成できるようにすること」である。

⑩ 現在ロータリー米山記念奨学会が奨学金を授与している学生は年間800人を超えており、奨学金月額は、学部課程は¥100,000、修士・博士課程は¥140,000であり、返済の必要がなく、支給総額は約15億円である。



スマイルボックス

澤田 稔君:せせらぎ三島RCの各行事・運営に協力出来なくて申し訳ありません。他で職業を通して社会奉仕をしております。一部過剰な部分もありますが・・・。

石井邦夫君:会長、幹事、親睦委員長、1年間ご苦勞様でした。次年度の会長幹事、是非頑張ってください。

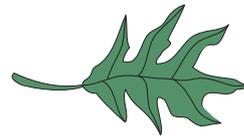


PHOTO GALLERY

